

資料編について

1 概要

(1) コンセプト

基本方針のひとつである、「学術的研究を基に、新たな区史の編さんを行います」に基づき、今回の区史編さんで発掘された新たな資料を区民に還元するため、資料編を作成します。

「図や写真を多く用い、分かりやすく、読みやすい、身近に感じる歴史」の基本方針のもとで通史編を執筆するなかで、通史編に掲載しきれない貴重な資料に関しては、資料編への掲載により、通史編を補うものとします。

(2) 卷数

2巻（平成29年度第1回港区史編さん委員会で決定）

1巻あたり500頁以内を想定

(3) 発行

①発行時期 平成35(2023)年3月 WEB公開、刊行

(平成 29 年度第 1 回港区史編さん委員会で決定)

②部 数 1,000 部

(平成 30 年度第 1 回港区史編さん委員会で決定)

③半

(平成 30 年度第 2 回港区史編さん委員会で決定予定)

④装丁 ソフトカバー

(平成 30 年度第 2 回港区史編さん委員会で決定予定)

2 体制について

(1) 部会

本編の部会（自然・原始／古代・中世／近世／近代／現代）の監修者及び関係する執筆者が編さんの監修を行います。

翻刻（※）については、大学院生等のご紹介または事務局で実施いたします。

※翻刻とは…古文書を活字化すること。

(2) 翻刻資料の確認について

資料を選定した執筆者が確認します。

（3）監修について

上記（2）の執筆者が所属する部会の監修者が監修します。

3 スケジュールについて（詳細は、資料3-2参照）

・自然～近世

調査・掲載資料選別 : 平成32年3月
調査・選別予備期間 : 平成32年4月～9月
翻刻資料確認・解題執筆 : 平成32年10月～平成33年12月
部分監修 : 平成34年1～3月

・近代

調査・掲載資料選別 : 平成32年9月
翻刻資料確認・解題執筆 : 平成32年10月～平成33年12月
部分監修 : 平成34年1～3月

・現代 ※通史編と同様

調査・掲載資料選別 : 平成33年3月
部分監修 : 平成33年4～9月

・共通業務

翻刻作業 : 平成31年4月～平成33年3月
翻刻作業予備期間 : 平成33年4～12月
全体監修 : 平成34年4～6月
刊行・Web公開 : 平成35年3月

4 構成について

通史編の構成を基本とし、時代別（遺跡・遺構については、考古でまとめます。）で構成する予定です。

基本構成		刊本形態
時代（分野）	各時代概算頁数	
考古	100頁程度	第9巻 A4 モノクロ 口絵カラー
古代	50頁程度	
中世	40頁程度	
近世	460頁程度	
近代	300頁程度	第10巻 A4 モノクロ 口絵カラー
現代	50頁程度	

5 今後の編さん委員会での主な決定事項

執筆要項（翻刻における文字の変換方法や図版掲載方法等、執筆にあたつての留意点）、時代（分野）別の構成、カバーデザイン